

樫原運動公園再整備基本計画策定業務委託
仕様書

1. 業務名

樫原運動公園再整備基本計画策定業務委託

2. 発注者

健康スポーツ部 スポーツ推進課

3. 業務の目的

本業務は、本市のスポーツ・防災拠点である樫原運動公園について、令和6年度に策定した樫原運動公園整備基本構想を基に、「市民の誰もが利用でき、すべての人にやさしい環境づくり」、「人が集い、交流の拠点となる環境づくり」、「より安心・安全で快適な環境づくり」を3つの整備コンセプトとして、樫原運動公園における新体育館・屋内プールの整備についての基本計画を策定することを目的とする。

4. 履行期間

契約締結日翌日から令和8年3月19日（木）までとする。

5. 業務の実施

- (1) 受託者は、本仕様書に基づき業務を実施すること。
- (2) 受託者は、関係法令等を遵守すること。
- (3) 受託者は、発注者と十分な意思疎通を図り、その意図や目的を十分理解するよう努めること。
- (4) 受託者は、業務の品質を確保するための適切な人員配置を行うこと。
- (5) 受託者は、定期的に業務の連絡報告を行うこと。
- (6) 受託者は、自らの組織の中から管理技術者を選任し、予め定められた方法により発注者に通知すること。
- (7) 受託者は、本業務の一部を他に再委託する場合は、予め発注者の承諾を得ること。
- (8) 本業務に関する打合せは、発注者が指定する方法・場所で行うこと。
- (9) 本業務の実施に関して疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議を行い、その指示を仰ぐこと。
- (10) 受託者は、本業務の実施過程で知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。

6. 業務計画書の提出

- (1) 受託者は、契約締結の日から14日以内に業務計画書を作成し、発注者に提出し、承

諾を得ること。

(2) 業務計画書には、次の事項を記載すること。

- ア 業務の内容
- イ 業務の方針
- ウ 組織体制
- エ 管理技術者、担当技術者、照査技術者の一覧表及び経歴書、業務分担表
- オ 協力者がある場合は、協力者の概要及び担当技術者一覧表及び経歴書、業務分担表
- カ 発注者との打合せ計画表
- キ 業務工程
- ク 連絡体制
- ケ その他発注者が必要とする事項

(3) 受託者は、業務計画書の内容を変更する場合は、その理由を明確にした上で、速やかに発注者に変更業務計画書を提出し、承諾を得ること。また、発注者が指示した事項については、受注者は速やかに業務計画書を変更し、内容を反映すること。

7 業務構成及び各業務構成の業務仕様項目

(1) 樫原運動公園新体育館・屋内プール整備基本計画策定業務

樫原運動公園北東部（新たな用地取得エリア）について、以下の業務を行う。

- ア 新体育館・屋内プール整備基本方針の整理
- イ 計画地の整理
- ウ 全体ゾーニング計画
 - ・与条件の整理
 - ・施設配置方針
 - 空間構成、施設構成、動線・駐車場
 - ・基本計画図
 - ・イメージパース
- エ 体育館整備計画
 - ・基本的な考え方
 - ・施設計画
 - ・設備等整備方針
 - 外装・内装、構造、設備、ユニバーサルデザイン、環境配慮
 - ・基本計画図
- オ プール棟整備計画
 - ・基本的な考え方
 - ・施設計画
 - ・設備等整備方針

外装・内装、構造、設備、ユニバーサルデザイン、環境配慮に関する方針

・基本計画図

カ 災害時の活用に関する計画

・大規模災害発生時の施設の位置づけ

・災害時の体育館・プール棟等の計画

キ 新体育館・屋内プール棟の施設運営計画

・事業モデル

・運営体制モデル

・施設運営収支モデル

ク 整備事業概算費用の算出

ケ 事業スケジュールの作成

コ 事業実施に向けた課題等の整理

(2) 樫原運動公園新体育館・プール棟整備事業推進支援業務

基本計画の検討に合わせて、令和8年度以降の速やかな事業推進に向けた事業手法・事業スキームの確定並びに公募資料等の作成支援を行う。

ア 施設整備・管理運営方針の整理

イ 事業手法の比較検討

ウ 適用事業手法の実施工程の整理

エ 民間事業者ヒアリング

オ 次年度以降の予算要求をする際に必要となる概算資料等の作成

※12月定例会を想定

カ その他次年度以降の事業推進に資する支援

8. 成果品

本業務の成果品は原則として以下のとおりとする。

(1) 樫原運動公園再整備基本計画 電子媒体、20部（要製本）

(2) 樫原運動公園再整備基本計画（概要版） 電子媒体

(3) 樫原運動公園再整備基本計画策定に係る資料一式

9. 支払方法

業務完了後の一括支払